

青少年赤十字 青少年赤十字提供プログラム (2月、3月実施)

青少年赤十字提供プログラムは、救急法や点字の体験、災害救護活動や海外救援活動などの講演を、特別赤十字奉仕団などのご協力を得ながら、青少年赤十字加盟校で楽しく、分かりやすくお伝えします。

生命の大切さやボランティアの心を養い、人としてのやさしさを育むため学校教育で、青少年赤十字提供プログラムをご利用ください。

- **防災教育**
兵庫県立高砂南高等学校
- **国際理解・平和**
高砂市立米田西小学校
- **福祉教育**
高砂市立伊保小学校
- **健康・安全**
神戸市立西山小学校
神戸市立大池中学校
西宮市立苦楽園中学校



西宮市立苦楽園中学校

看護師等の養成 姫路赤十字看護専門学校卒業式

3月7日(金)、日本赤十字社大塚義治副社長の出席のもと第113回姫路赤十字看護専門学校卒業式が厳粛に行われました。代々受け継がれている紺色の救護員制服に身を包んだ卒業生36名一人ひとりに佐藤学校長から卒業証書が手渡され、副社長はじめ多数の関係者、ご来賓からお祝いと励ましの言葉をいただきました。卒業生を代表して堤絵美さんから、「『人道』を具現化できる赤十字看護師になれるよう努力する」と決意表明がありました。

また、兵庫県日赤有功会からの卒業記念として、印鑑付ボールペンとペーパーウェイトが北村会長から卒業生に贈られ、卒業生から東日本大震災義援金と活動資金が、それぞれ大塚副社長と藤原事務局長に手渡されました。



日本赤十字社大塚義治副社長から祝辞



佐藤学校長から卒業証書の授与

救急法等の講習 講習のご案内 ~健康で安全な生活を送る知識と技術を~

急病や不慮の事故から身を守り、大切な人のいのちを救うための正しい基礎知識と技術を身につけてみませんか?

日本赤十字社は、皆さまが健康で安全な生活を送るための手伝いができるよう、救急法等の普及活動に努めています。

内容	開催日
救急法基礎講習(1日間)	5月19日(月)、6月7日(土)
救急法救急員養成講習(2日間)	6月21日(土)・22日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(3日間)	5月17日(土)・24日(土)・25日(日) 6月 8日(日)・14日(土)・15日(日)
健康生活支援講習	6月21日(土)・22日(日)・28日(土)
幼児安全法(2日間)	5月11日(日)・18日(日)

◇講習会場は日本赤十字社兵庫県支部です。
◇詳細及びその他の講習についてはホームページで。



赤十字 兵庫

<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字

2014 APRIL 4月

- 活動資金にご協力ください
- 赤十字活動を支える大きな力ー地域赤十字奉仕団
- 大規模災害への迅速な対応のために
- 青少年赤十字提供プログラム(2月、3月実施)
- 姫路赤十字看護専門学校卒業式
- 講習のご案内

【写真説明】④姫路赤十字看護専門学校卒業式⑤太子町赤十字奉仕団結団式
⑥丹波市合同防災訓練(ヘリ搬送)



太子町赤十字奉仕団結団式



活動資金にご協力ください

~皆さまのご支援が、いのちと健康を守る活動を支えています~

地域の皆さまの安全・安心を図るため「街角の赤十字」として兵庫県内の警察署、交番等755ヶ所に設置している救急箱とあわせ、平成23年度からは7カ年計画で140台のAEDを警察署等に設置するなど、皆さまからお寄せいただいた資金はいのちと健康を守る皆さまの身近な活動に活かされています。



口座番号:01110-0-1136
口座名義:日本赤十字社兵庫県支部
(窓口振込により手数料は免除されます)

郵便振込で



銀行名:三井住友銀行神戸営業部
口座番号:普通口座8527478
口座名義:日本赤十字社兵庫県支部
(振興課まで専用振込用紙をご請求ください。)

銀行振込で



◇活動資金に関するお問合せ
078-241-8921
(兵庫県支部 振興課)

お電話で

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨海海岸通1丁目4番5号
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

太子町赤十字奉仕団が結団式 ～「和のまち太子」を安全・安心の町に～



団旗を手にする上森委員長



新しい団への期待を込める北川分区長



再結成を喜ぶ高宮委員長

3月3日(月)、太子町立文化会館で太子町赤十字奉仕団の結団式が開催されました。

昨年度末の太子町婦人会の解散に伴い、同奉仕団も同時に解散することとなりました。しかし、解散後も地区の皆さん等の努力により以前から防災の活動を展開していたボランティア団体を中心となり、47人が集まって赤十字奉仕団に名乗りを上げ、このたび再結成することができました。

地域赤十字奉仕団は、地域の安全・安心な社会創りに欠くことのできない存在です。各地域でそれぞれのニーズに合わせたボランティア活動を展開しています。実際の台風等で被害にあった地域では、日頃の災害時のための訓練を活かし、炊出し等を行い、地域の皆さんを元気付けた団もあります。

藤原事務局長から団旗を受け取った上森俊正委員長からは「私たちの町も決して災害が発生しないとは言えません。これまで防災のボランティアとして活動してきたことが今回の結成につながった。『和のまち太子』の奉仕団として、皆で協力しあい頑張りましょう」と、力強い決意表明がありました。つぎに太子町の北川嘉明分区長からは「東日本のような大きな災害は、行政だけの力では足りない。奉仕団の方々の協力で、太子町が災害の少ない安全・安心の町になるよう、願っています」と、新しい団に大きな期待を込めたメッセージが贈られました。また、西播磨地区赤十字奉仕団の高宮一代委員長からも「たいへん嬉しく思っています。仲良く頑張っていきましょう」と、仲間の再結成に対して喜びの気持ちが伝えられました。

地区赤十字奉仕団委員長会 ～より一層絆を深めるために～

3月10日(月)、ひょうご女性交流館で奉仕団委員長、地区担当者等63人が参加し、地区赤十字奉仕団委員長会が開催されました。

はじめに、兵庫県赤十字奉仕団の北野委員長から「私たちは常日頃、赤十字奉仕団員であることを忘れがちだが、これからは、いつでも団員の力を発揮できるよう、より一層絆を深めていきたい」と挨拶がありました。

また、平成25年度モデル奉仕団の活動事例発表では、尼崎市の山口氏から地域防災に関する活動発表があり「日頃から訓練に参加し、地域の方と顔を合わせることで絆を深め、いざという時に助け合えるようにしておくことが大切」との防災訓練の大切さについて話がありました。続いて佐用町の岩本委員長からは西播磨赤十字奉仕団員研修会で炊出しやテント設営を行った発表。「平成19年から継続は力だということで続けてきた訓練が、実際に台風9号の時に役立つこととなりました。地域と連携をとりながら、これからも活動を続けていきたい。支援して下さった皆さんに感謝しています」と話されました。

次に、神戸市東灘区の山本委員長からは、高齢者・子育て支援に関する活動として「母から子に時代を紡ぐ春ということで行った和布による小物展示即売会」についての発表があり、来場者にも喜ばれましたと話されました。最後に赤穂市の小椋副委員長から、老人クラブ会員や小学生対象に行った健康ウォークラリーでの、豚汁の炊出し訓練や日赤クイズでの楽しかった様子が伝えられました。

今後も赤十字活動を支える大きな力として、各奉仕団が連携をとりあいながら、それぞれの地域で様々な活動を展開していただけるよう、支部も積極的に協力してまいります。



挨拶される北野委員長



ご出席いただいた奉仕団委員長



防災訓練の事例発表

災害拠点病院研修

2月22日(土)、神戸赤十字病院と兵庫県災害医療センターにおいて、災害発生直後の医療救護活動を想定した受入れ訓練が行われました。

訓練には、兵庫県支部、神戸赤十字病院、兵庫県災害医療センターをはじめ県内の各赤十字施設、赤十字防災ボランティアが参加。指揮命令系統を中心とした傷病者受入訓練、資機材設営等の訓練、他施設との連携などに重点をおいた内容とし、「JR灘駅で列車脱線転覆事故により、多数の傷病者が発生した」という想定で、災害対策本部や増床ベッドの立ち上げ、傷病者の受入れなどが行われました。

また病院前トリアージエリアでは、運び込まれてくる傷病者を、重症、中等症、軽症それぞれのエリアへ迅速に振り分け、各エリアでの治療が行われ、訓練後の各パートの検証会では、受入体制や各エリアとの連携の回り方などの反省点が話し合われました。

兵庫県支部では、今後も災害に備え、県内各赤十字施設の連携と災害対応力の強化に努めてまいります。



各エリアに運ばれる傷病者



各エリアでの医師らによる診察・治療

- ※災害拠点病院:24時間いつでも災害の緊急対応ができ、被災地域内の被災患者の受入れや治療、さらには救護班の派遣が行える等の機能を備えた病院
- ※トリアージ:治療や搬送の優先順位をつけて、傷病者を分類すること

自主防災避難訓練で赤十字防災啓発プログラムの講演

3月1日(土)、尼崎市大庄地区の自主防災会が地震・津波訓練を実施しました。兵庫県支部からは、振興課の渡邊係長が、「地域で考える防災時の備え」というテーマで、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震等に対し、地域での災害への備えについて赤十字防災啓発プログラムをもとに講演を行うとともに、赤十字活動を紹介しました。

避難訓練には約440人が参加され、日頃からの備えや地震に対する知識を深めていただくよい機会となりました。



体育館に避難する訓練参加者



赤十字防災啓発プログラムの講演に耳を傾ける地域住民の皆さん

丹波市合同防災訓練に参加

3月1日(土)、丹波市で合同防災訓練が実施されました。

兵庫県支部は柏原赤十字病院の救護班とともに訓練に参加。地震により近隣施設に傷病者が取り残されているという想定で訓練は開始され、警察や消防の救助隊により救出され運び込まれた傷病者を、災害医療チーム(DMAT)とともにトリアージしました。

また、ヘリコプターによる搬送訓練も実施。多くの市民が目撃する中、重症と判断された傷病者1名を収容した篠山消防の救急車に医師ら救護員3名が同乗。重傷者をヘリ離着陸場へ搬送後、ヘリに乗り込み、機内での治療訓練も行なわれました。

午後からの市民参加型の訓練では、丹波市赤十字奉仕団の皆さんが朝から準備した炊き出しを訓練のお味噌汁400食を訓練参加者と一般来場者へ振る舞いました。



関係機関と連携して傷病者のトリアージ



丹波市赤十字奉仕団からは温かい味噌汁が振る舞われました